

2025年度第1学期山梨学習センターゼミ

講師名	開催 予定日	テーマ	ゼミ概要
詳細		ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの
村松 俊夫 (センター所長)	① 4月9日 ② 5月14日	古典的図学入門 ー『陰(イン)と影(エイ)』編ー	みなさんは、“かげ(陰&影)”について考えたことはありますか？ 厳密には、『陰』と『影』ははっきり区別されるものです。 18世紀後半のフランスにおいて、ガスパール・モンジュが「図学」を体系化しました。その考え方をもとに、3次元の立体や空間における『陰影』を、2次元上に正しく表示していく方法を学びましょう。
【曜日】 第2水曜日 【定員】 5名 【時間】 13:30-15:00 【会場】 会議室	③ 6月11日 ④ 7月9日 ⑤ 8月6日 (第1) ⑥ 9月10日	内容の説明を行ったうえで、毎回こちらで用意した図の上に、三角定規、コンパス等を使って簡単な図形や『陰影』を描いていく演習です。 書画カメラで投影する映像を見ながら、いっしょに作図していきます。 立体を認識する力や空間を把握する力が養えますよ。	大きくしっかりした線・太くて濃い線が引ける鉛筆2種、消しゴムは受講生が用意してください。 三角定規セリ、コンパス、直定規、色分けできる道具(色鉛筆)等は、学習センターが貸与します。 特段の予備知識や、高度な技術がなくてもOKです。
大山 拓次 (山梨大学教授)	① 4月23日 ② 5月28日	タンパク質構造入門	固有の機能を発揮することで、私達はようやく健康に生きることができるよう、タンパク質は原子レベルで設計された構造を持っています。構造に基づく機能の仕組みを知れば、生命に対する考え方が今までとは大きく変わるかもしれません。
【曜日】 第4水曜日 【定員】 5名 【時間】 10:40-12:10 【会場】 実習室	③ 6月25日 ④ 7月30日 (第5) ⑤ 8月27日 ⑥ 9月24日	地上の生物に命を吹き込んでいる様々なタンパク質について学んでいただきます。前半は、講師がこれまでに出会ったユニークな構造を持つタンパク質を紹介し、後半では、受講者の皆様それぞれが興味を持つタンパク質について、構造と機能の相関を議論したいと思います。	生化学の予備知識があれば、より深く理解していただけますが、事前知識が少なくても、授業を通して理解していただけるような内容をご提供できればと考えています。
岡松 恵 (山梨大学准教授)	① 4月10日 ② 5月8日	文様に惹かれて	身の回りに残る昔の文様を、文化史研究の手法を用いて調べてみましょう。由来や表現など、様々な角度からじっくり調べてみることで、その文様の持つおもしろさや魅力に改めて気づかされることでしょう。また昔の日本人の美意識や心情に触れることができるかもしれません。
【曜日】 第2木曜日 【定員】 5名 【時間】 10:40-12:10 【会場】 実習室	③ 6月12日 ④ 7月10日 ⑤ 8月7日 (第1) ⑥ 9月11日	毎回、受講生の皆様に、“ご自身の惹かれた(日本の)文様”を”一つ”紹介してもらうことから、ゼミがスタートします。その後皆でディスカッションを行い、そこで得たヒントを糧に、ご自身でさらに調べ学習をしてもらいます。最終回ではまとめたものを披露しあいます。	特段の予備知識は必要ありません。 事前学習(毎回一つ文様を探すこと)や事後学習(その文様について調べてまとめること)が必要となります。方法については第一回で説明します。
尾形 大 (山梨大学准教授)	① 4月16日 (第3) ② 5月7日	近代の短編小説を読む	「小説の面白さ」とは何でしょう？ 奇想天外なストーリーや魅力的な登場人物といった点だけが小説の「面白さ」ではありません。小説はどのように読むことができるのか、その方法や視点を学ぶことをとおして、さまざまな小説の世界の奥行きと広がりを実感することを目的とします。
【曜日】 第1水曜日 【定員】 6名 【時間】 13:10-14:40 【会場】 実習室	③ 6月4日 ④ 7月2日 ⑤ 8月6日 ⑥ 9月10日 (第2)	初回の授業時に各回で取りあげる小説を決めます。各回1～2名に簡単な報告をしてもらい、そのうえでその小説について各自の事前学習をもとに話し合いをおこないます。	各回であつかう小説はこちらで印刷したものを用意します。ゼミ生は必ずその小説を読み、自分なりの意見や考えを準備して授業にのぞんでください。次第に小説を読むうえでの視野が広がっていくことを実感できるように、真剣かつ楽しみながら授業を進めていきましょう。
菊地 淑人 (山梨大学准教授)	① 4月17日 ② 5月15日	地域の歴史文化と観光／まちづくり	身近なところにも様々な文化資源(歴史的建造物、遺跡、博物館・美術館に所蔵された美術工芸品など)があります。その価値や魅力は何なのでしょう。また、観光やまちづくりにはどのように役立つのでしょうか。事例を参考に、くらしのなかの歴史文化の役割を考えましょう。
【曜日】 第3木曜日 【定員】 5名 【時間】 10:00～11:30 【会場】 会議室	③ 6月19日 ④ 7月10日 (第2) ⑤ 8月7日 (第1) ⑥ 9月18日	参加者の皆さんに、毎回、興味をもった事例などを話題提供してもらい、それを踏まえて地域文化の価値、魅力とそれを活かした観光地づくりの事例などについてディスカッションを行います。	事前の予備知識は不要です。歴史文化に馴染みのある方もない方も、地域の文化やまちづくりを見つめ直すきっかけになることを願っています。
田中健史朗 (山梨大学准教授)	① 4月16日 ② 5月21日	人の「こころ」(心理)について考える	人の「こころ」に関心を持ち、その心理を掘り下げ、本質的な問題や課題が何であるのかについて理解することを目指します。また、支援者として支援する方法を獲得することを目指します。
【曜日】 第3水曜日 【定員】 6名 【時間】 10:40-12:10 【会場】 会議室	③ 6月18日 ④ 7月2日 (第1) ⑤ 8月20日 ⑥ 9月17日	各回で取り上げるテーマを決め、そのテーマについて各自事前学習を行っていただきます。ゼミでは各自の事前学習をもとに討議を行います。	取り上げるテーマについて事前学習が必要です。事前学習の仕方について第1回ゼミで説明します。
鳥山 孝司 (山梨大学准教授)	① 4月17日 ② 5月22日 (第4)	走るを科学する	速く、長く走れる走り方は？ 怪我をしない走り方は？ 運動力学、生理学などの観点からこれらについて考えていきます。単純な運動ですが、奥深さに触れてみませんか？
【曜日】 第3木曜日 【定員】 6名 【時間】 13:30-15:00 【会場】 実習室	③ 6月19日 ④ 7月10日 (第2) ⑤ 8月21日 ⑥ 9月11日 (第2)	前半は、走るとは何か？ その正しい動きは？ 走りの練習方法はといったものを紹介し、その基本的な動き作りに取り組んでいきます。実際に走るまでの運動はしません。後半は、受講者が実際に取り組むための練習のプランニングについて考えていきます。	これから運動を始めたいという方から、大会で結果を出したいという方までの広い範囲を扱いたいと思います。歩き方などの身体の使い方を確認する運動もしたいので、動きやすい格好での参加が望ましいです。